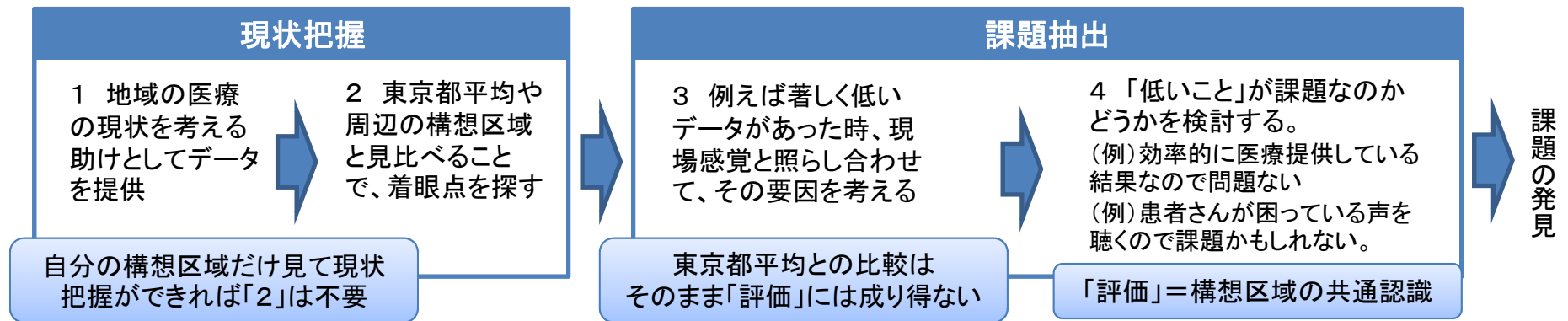


平成28年度調整会議の振り返り

○病床機能報告等のデータを提示しながら、地域の医療状況について共有し、地域の課題等について意見交換を実施

<データの見方に関する意見>

○「東京都平均と比較することに意味があるのか」「東京都平均を良しとするのか」といった意見があった。
 ⇒データは今後経年変化を見ることも可能なデータであり、「数値目標」としてではなく、「現状把握」のために提供
 東京都平均データの活用方法のイメージは以下のとおり。



<進行に関する課題>

- ・調整会議では時間の制約もあり、全ての関係者から意見を伺うことは困難
- ・構想区域によって意見の出方にばらつきがある
- ・行政への質問に終始し、地域の関係者同士での意見交換になりづらいケースもあった。

地域の医療現状について、より丁寧に話し合いを進めるために、アンケート調査を実施

地域医療に関するアンケート

- 構想区域内の病院、在宅医療を行っている診療所、区市町村、調整会議に参加する関係団体向けに実施(平成29年3月)
- アンケート結果と、昨年の調整会議等で示したデータとを照らし合わせながら構想区域の現状及び課題を共有

対象

病院、在宅医療を行っている診療所※、区市町村、調整会議に参加する関係団体

※東京都医療機能実態調査において、「訪問診療を実施している」と回答した診療所

質問項目

- 地域の医療の現状の認識（充足していると思う医療、不足していると思う医療）
- 自院が現在、地域で果たしていると思う役割
- 予測される将来の医療の状況
- 在宅医療を行う上で課題と感じていること
- 4機能及び在宅医療に望むもの
- 将来に向けての不安・課題
- 入院医療機関に対して望む事 等

回収率

